

令和 6 年度(第 23 回)

北海道支部定期総会議案

1) 令和 5 年度事業報告

今年度は前新屋支部長の逝去により山田洋平氏に支部長として就任いただき新体制でスタートしました。

2023 年 5 月、新型コロナウイルス感染症も感染上の位置づけが 2 類相当から 5 類に移行されたことに伴い、行動制限が大幅に解除され、各地でのイベントが以前のように開催されるようになり、人々の日々の生活が戻りつつあります。しかし残念ながら新型コロナに罹患する事例を今だ、耳にすることが多々あります。そのような中で北海道支部規約第 4 条に掲げる次の事業を実施しました。

(1) ALS に関する正しい知識の普及と啓発事業

- ・ 6 月 4 日(日)第 22 回北海道支部定期総会は、昨年同様対面と Zoom を利用したオンライン(ハイブリッド方式)で北海道難病センターにて開催しました。
第 2 部は、NPO 法人和・ハーモニー音楽療法研究会「歌の翼隊」による演奏会そして医療講演では札幌市立大学看護学部の准教授高橋奈美先生による「**ALS 療養者・家族の日常を支えるケア ～過去・現在・未来～**」をテーマに講演をいただきました。4 年振りに札幌市での開催となり会員初め道内保健所の方々にもご参加いただき楽しく有意義なひと時を過ごさせていただきました。
- ・ 機関誌「絆」の発行 第 109 号から第 112 号 年 4 回
- ・ 喀痰吸引等第三号研修の実施(帯広地区)
令和 6 年 3 月 16 日(土)、17 日(日)

(2) 患者・家族及び遺族相互の経験交流と医療福祉に関する相談事業

- ・ 絆サロン(相談会)の開催
4 月~12 月及び 3 月まで開催(10 月は会場都合で中止)
9 回の実施で延 156 名の参加がありました。(前年度 84 名)
- ・ 千歳支会 開催
- ・ 「歌の翼隊」総会での演奏および患者宅への派遣

(3) 医療・福祉行政への療養環境改善に対する働きかけ

- ・ 保健所主催の難病研修会への参加及び講演
特に今年度は研修会の要請がありませんでした。

(4) その他北海道難病連事業への参加・協力等目的達成のために必要な事業

- ・ 難病患者・身障者と家族のための全道集会・分科会 札幌大会
オンラインでの開催
富田委員が帯広支会の活動を報告致しました。
- ・ チャリティクリスマスパーティ 12 月 10 日開催
- ・ 2024 年 JPA(日本難病・疾病団体協議会)国会請願署名の協力